



野木町長
真瀬宏子

ひろ コラム

No.141

それぞれの幸せの実現に向けて

今年も終わりに近づいてまいりました。コロナやダウンバースト等、様々な災難に見舞われた年となりました。皆様におかれましては何かと安定しない日々であったと思います。誰にも等しく年の瀬が訪れて、来年こそは、と明るい希望を持っておられる方も多いと思います。本当に一年間を通して平和で平穏な暮らしが保証されますようにお祈りしております。

さて異常気象や気候変動が常態化してきたここ数年では、春夏秋冬の感じ方も幾分変わってきていると思います。梅雨明けがはっきりとつかめないまま夏になったり

11月なのに半袖を着て暑い暑いと言ったり、四季折々の季節感がだんだん崩れそうで、その日の朝に合わせて着るものを考えている自分に気がきます。その人それぞれに季節を感じて半袖からセーターまで自由に選択し、それぞれの自由な感覚で決まりがなくなってきています。自分の感性で自由に季節を感じ、自由に選択できる傾向はいい傾向だと感じています。自分の感受性を大切にすること、そしてそれが尊重される環境が貴重だと思えます。これは服装に限らず大切なことと思えます。

それぞれの幸せの基準は違って、多様な幸せの基準が尊重されて、幸せ感あふれる町の実現に向かっていければ幸いです。来年こそ、それぞれ思い描く幸せが実現できる年となりますよう、共に歩んでまいりましょう。どうぞ良いお年をお迎え下さい。

野木町SNS・公式ホームページで町の情報発信中!!

野木町公式 Instagram

#のぎめつけ

をつけて投稿しよう!

「#のぎめつけ」をつけた投稿の中から、野木町公式Instagramをフォローしている方の投稿を一部、野木町公式Instagramで紹介します!

詳細は町HPへ

HPはこちら



Instagramはこちら



LINE



X



Facebook



Instagram



公式HP



問総務課 ☎(57)4134

投稿俳句

野木俳句会

【講師吟】

ゆれることだけに熱中ねこじやらし

石倉夏生

さわやかやコキアの赤に力湧く

小山西早苗

ぼうじ棒や月の兔も跳ねにけり

小瀬里子

逝く人や旅の途中の曼珠沙華

黒崎晶

天高し分厚い卵焼にする

幸田慶三郎

守り人考は炭足す背を丸め

小井田洋子

彼岸花ようやく集う姉妹

清水和歌子

金木犀四人ぐらしのあつた頃

滝敬子

ビデオ持ちパパも走るや運動会

中山夕ツ江

穂田や出穂を迎えて虚しけり

多田美一

命摘むごと風過ぎ行く朝日岳

藤田五月

地球儀を磨くあとから秋埃

石川和子